



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成27年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 第一三共株式会社

コード番号 4568 URL <http://www.daiichisankyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 讓治

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 石田 憲昭

TEL 03-6225-1125

四半期報告書提出予定日 平成27年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	238,417	11.6	49,126	49.8	45,194	38.2	34,090	83.8	34,932	74.8	19,333	26.5
27年3月期第1四半期	213,706	—	32,790	—	32,695	—	18,546	20.5	19,986	33.0	15,285	△58.4

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第1四半期	49.76		49.66	
27年3月期第1四半期	28.39		28.34	

(注)平成27年3月期にランバクシー・ラボラトリーズLtd.(以下「ランバクシー」)がサン・ファーマシューティカル・インダストリーズLtd.に吸収合併されたことにより、連結除外となりました。平成27年3月期第1四半期はランバクシーグループを非継続事業に分類し、売上収益、営業利益及び税引前利益の金額はランバクシーグループを除く継続事業のみの金額に組み替えて表示しております。なお、平成27年3月期第1四半期の売上収益、営業利益及び税引前利益の対前年同四半期増減率は、平成26年3月期第1四半期について非継続事業の金額を組み替えておりませんので、表示しておりません。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率		1株当たり親会社所有者帰属持分	
	百万円	円	百万円	円	百万円	%	円	銭		
28年3月期第1四半期	1,926,888		1,281,112		1,277,845	66.3	1,842.15			
27年3月期	1,982,286		1,307,041		1,304,057	65.8	1,852.28			

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
27年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	40.00	—	30.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)28年3月期第2四半期末配当金(予想)の内訳:普通配当30円、記念配当10円。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	950,000	3.3	120,000	61.2	115,000	43.9	75,000	△76.7	108.12	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注)詳細は、13ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	709,011,343 株	27年3月期	709,011,343 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	15,340,074 株	27年3月期	4,983,171 株
----------	--------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	702,060,522 株	27年3月期1Q	703,959,021 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、要約四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、12ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
① 業績全般の概況	2
【連結業績】	2
【地域別売上状況】	5
② サン・ファーマ株式売却について	9
③ 研究開発活動	10
(2) 財政状態に関する説明	12
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	12
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	13
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	13
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	13
3. 要約四半期連結財務諸表	14
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	14
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	16
要約四半期連結損益計算書	16
要約四半期連結包括利益計算書	17
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	18
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	19
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	20
(継続企業の前提に関する注記)	20
(セグメント情報等)	20

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、2014年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用しております。

(1) 経営成績に関する説明

① 業績全般の概況

【連結業績】

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

	2015年3月期 第1四半期	2016年3月期 第1四半期	対前年同期増減
売上収益	213,706	238,417	24,711 11.6%
営業利益	32,790	49,126	16,336 49.8%
税引前四半期利益	32,695	45,194	12,499 38.2%
継続事業からの四半期利益	20,892	34,090	13,198 63.2%
非継続事業からの 四半期損失(△)	△2,345	-	2,345 -
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	19,986	34,932	14,946 74.8%

(注) 2015年3月期にランバクシー・ラボラトリーズLtd. (以下「ランバクシー」) が、サン・ファーマシューティカル・インダストリーズLtd. (以下「サン・ファーマ」) に吸収合併されたため、ランバクシーグループを非継続事業に分類し、2015年3月期第1四半期を組み替えて表示しております。

<グローバル主力品売上収益>

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

品 目	2015年3月期 第1四半期	2016年3月期 第1四半期	対前年同期増減
オルメサルタン 高血圧症治療剤	75,772	75,647	△124 △0.2%
プラスグレル 抗血小板剤	5,777	7,820	2,042 35.4%
エドキサバン 抗凝固剤	101	1,841	1,739 1,714.0%

<研究開発費>

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

	2015年3月期 第1四半期	2016年3月期 第1四半期
研究開発費	41,410	43,693
対売上収益比率	19.4%	18.3%

<主要通貨の日本円への換算レート(期中平均レート)>

	2015年3月期 第1四半期	2016年3月期 第1四半期
1米ドル/円	102.16	121.37
1ユーロ/円	140.06	134.16

a. 売上収益

当第1四半期(2015年4月1日~2015年6月30日)の売上収益は、247億円増収の2,384億円(前年同期比11.6%増)となりました。

日本・米国・アジア・中南米における主力品の伸長及び為替の寄与(約124億円)等により、増収となりました。

b. 営業利益

営業利益は、163億円増益の491億円(前年同期比49.8%増)となりました。

売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費の減少等により、増益となりました。

c. 税引前四半期利益

税引前四半期利益は、125億円増益の452億円(前年同期比38.2%増)となりました。

サン・ファーマ株式売却手数料の支払等に伴う金融費用の増加により、営業利益の増益幅よりも小幅な増益となりました。

d. 親会社の所有者に帰属する四半期利益

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、149億円増益の349億円(前年同期比74.8%増)となりました。

税引前四半期利益の増加に加え、法人税額の減少等により、大幅な増益となりました。

【地域別売上状況】

a. 日本

日本の売上収益は、1,315億円（前年同期比7.2%増）となりました。

国内医薬では、ジェネリック医薬品の処方拡大による影響があったものの、ネキシウム、メモリー、プラリア、リクシアナ、エフィエント等の伸長により、売上収益は1,154億円（前年同期比7.6%増）となりました。

この売上収益には、ジェネリック事業を主に取り扱う第一三共エスファ株式会社の売上収益、並びに北里第一三共ワクチン株式会社及びジャパンワクチン株式会社等が取り扱うワクチン事業の売上収益が含まれております。

合成抗菌剤レボフロキサシン原薬輸出を中心とした輸出医薬の売上収益は、44億円（前年同期比17.3%減）となりました。

ヘルスケア（第一三共ヘルスケア株式会社）の売上収益は、108億円（前年同期比15.3%増）となりました。

＜日本の主な売上構成＞

（単位：億円。億円未満四捨五入）

区 分	2015年3月期 第1四半期	2016年3月期 第1四半期	対前年同期増減
国 内 医 薬	1,072	1,154	82 7.6%
輸 出 医 薬	54	44	△9 △17.3%
へ ル ス ケ ア	94	108	14 15.3%

<国内医薬主力品売上収益>

(単位：億円。億円未満四捨五入)

製品名	2015年3月期 第1四半期	2016年3月期 第1四半期	対前年同期増減
オルメテック 高血圧症治療剤	187	185	△3 △1.4%
ネキシウム 抗潰瘍剤	153	191	38 25.2%
メモリー アルツハイマー型 認知症治療剤	79	102	24 30.2%
ロキソニン 消炎鎮痛剤 (うちロキソニンテープ)	122 (75)	126 (83)	3 2.7%
クラビット 合成抗菌剤	69	46	△23 △32.9%
レザルタス 高血圧症治療剤	45	46	1 2.1%
アーチスト 高血圧・狭心症・ 慢性心不全治療剤	48	41	△7 △14.1%
オムニパーク 造影剤	42	42	△0 △0.4%
メバロチン 高コレステロール 血症治療剤	42	36	△6 △14.0%
ランマーク 癌骨転移治療剤	21	29	8 38.0%
ユリーフ 排尿障害治療剤	27	29	1 4.9%
プラリア 骨粗鬆症治療剤	13	26	13 102.2%
リクシアナ 抗凝固剤	1	21	20 1,985.5%
エフィエント 抗血小板剤	2	12	10 554.0%
テネリア 2型糖尿病治療剤	15	24	9 59.2%

b. 北米

北米の売上収益は、696億円（前年同期比28.7%増）となりました。

現地通貨ベースでは5億7千3百万米ドル（前年同期比8.3%増）となりました。

第一三共Inc. のベニカー／ベニカーHCT、トライベンゾールが減収となりましたが、エイゾール、ウェルコール、エフィエントが増収となりました。

また、ルイトポルド社のヴェノファー、インジェクタファーが増収となりました。

なお、サベイサについては、本年2月に新発売となり、2015年3月期に6百万米ドルの売上収益を計上しましたが、当第1四半期はリポート調整等によりマイナスとなっております。

また、2015年4月よりモバンティックの共同販促を開始しました。

<第一三共Inc. 主力品売上収益>

(単位：百万米ドル。百万米ドル未満四捨五入)

製品名	2015年3月期 第1四半期	2016年3月期 第1四半期	対前年同期増減
ベニカー／ ベニカーHCT 高血圧症治療剤	185	163	△21 △11.5%
エイゾール 高血圧症治療剤	40	48	8 19.7%
トライベンゾール 高血圧症治療剤	26	26	△1 △2.1%
ウェルコール 高コレステロール血症治療剤・ 2型糖尿病治療剤	111	112	1 0.9%
エフィエント 抗血小板剤 (共同販促収入)	42	43	1 3.1%
サベイサ 抗凝固剤	-	△2	△2 -%
モバンティック オピオイド誘発性便秘薬 (共同販促収入)	-	1	1 -%

＜ルイトポルド・ファーマシューティカルズInc. 主力品売上収益＞

(単位：百万米ドル。百万米ドル未満四捨五入)

製品名	2015年3月期 第1四半期	2016年3月期 第1四半期	対前年同期増減
ヴェノファー 貧血治療剤	70	75	4 6.3%
インジェクタファー 貧血治療剤	14	32	18 125.3%

c. 欧州

欧州の売上収益は、191億円（前年同期比18.5%減）、現地通貨ベースでは1億4千2百万ユーロ（前年同期比14.9%減）となりました。

オルメテック／オルメテックプラス、セビカー、セビカーHCTが減収となりました。

＜第一三共ヨーロッパGmbH主力品売上収益＞

(単位：百万ユーロ。百万ユーロ未満四捨五入)

製品名	2015年3月期 第1四半期	2016年3月期 第1四半期	対前年同期増減
オルメテック／ オルメテックプラス 高血圧症治療剤	79	66	△13 △16.1%
セビカー 高血圧症治療剤	38	33	△5 △12.9%
セビカーHCT 高血圧症治療剤	24	18	△6 △23.3%

d. その他の地域

その他の地域の売上収益は、183億円（前年同期比34.7%増）となりました。

中国、ブラジル等において、オルメサルタンを中心に主力品が伸長しました。

② サン・ファーマ株式売却について

2014年4月、当社はサン・ファーマがランバクシーを吸収合併しその対価としてランバクシーの株式1株に対しサン・ファーマの株式0.8株を当社が受領する契約を締結しました。2015年3月、合併手続の完了により当社はサン・ファーマの株式を約9%所有し、子会社合併差益2,787億円(税効果考慮後)を非継続事業からの当期利益に計上しました。

2015年4月、当社はサン・ファーマ株式を、さらなる企業価値向上の観点から3,785億円で全株売却し、当第1四半期の連結決算では、本取引に係る売却損308億円(税効果考慮後)をその他の包括利益に計上しました。

③ 研究開発活動

当社グループは、革新的医薬品の迅速かつ継続的な創出に向けた取り組みを推進しており、循環代謝領域・癌領域・先端領域を重点領域と定め、ファーストインクラス・ベストインクラス品目の創出に注力しております。

また、子会社のアスピオファーマ株式会社、U3ファーマ GmbH、プレキシコン Inc. に加え、当社内に設立したベンチャーサイエンスラボラトリー等により、ベンチャースピリットに富んだ研究開発力の強化を進めております。

さらに、他社との提携やオープンイノベーションの拡充、バイオ医薬品事業への本格参入に向けた研究開発の強化やワクチンの研究開発も推進しております。

【主な研究開発プロジェクト】

a. プラスグレル

日本では、2014年より経皮的冠動脈形成術を伴う虚血性心疾患の適応症で製品名エフィエントとして販売しておりますが、虚血性脳血管障害患者を対象としたフェーズ3試験を推進しております。

また、米国において小児鎌状赤血球症患者を対象としたフェーズ3試験を推進しております。

b. エドキサバン

欧州では、2015年5月よりスイスにおいて非弁膜症性心房細動患者における脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制、並びに静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺塞栓症）の治療及び再発抑制の両適応症で販売しておりますが、6月にEUでも同様の適応症で承認を取得しました。このほか、台湾、韓国、ブラジルにおいて承認申請中ですが、さらに、7月にタイで承認申請を行いました。

また、2015年6月、がんに合併し静脈血栓塞栓症を発症した患者を対象としたHokusai-VTE Cancer試験を開始しました。

c. デノスマブ

デノスマブは、骨代謝に関わる抗体医薬品であり、米国アムジェン社から日本における開発・販売権を取得しております。2012年4月より癌骨転移治療剤ランマーク、2013年6月より骨粗鬆症治療剤プラリアの製品名で販売しておりますが、さらに、乳癌術後補助療法を対象としたグローバルフェーズ3試験、関節リウマチ患者を対象とした国内フェーズ3試験を推進しております。

d. ミロガバリン

ミロガバリンは、米欧で線維筋痛症患者を対象としたフェーズ3試験を推進しており、日本・アジアでは、糖尿病性末梢神経障害性疼痛患者及び帯状疱疹後神経痛患者を対象としたフェーズ3試験を推進しております。

e. ワクチン

2015年4月に、第一三共グループとテルモ株式会社の共同開発による皮内投与型季節性インフルエンザワクチンについて国内製造販売承認申請を行いました。さらに、医療ニーズの高い複数のワクチンの研究開発を推進しております。

【主な研究開発提携等】

a. てんかん治療薬ラコサミド国内製造販売承認申請

当社とユーシービージャパン株式会社は、2014年11月、同社が開発したてんかん治療薬ラコサミドに関する共同商業化契約を締結しており、2015年6月、同社は、成人てんかん患者の部分発作に対する他の抗てんかん薬との併用療法を適応として国内製造販売承認申請を行いました。同剤の製造は同社が行い、販売・流通は当社が担当し、プロモーション活動は両社共同で実施する予定です。

b. インフルエンザワクチンHAワクチン“化血研”に関する販売提携契約

当社と一般財団法人化学及血清療法研究所（以下「化血研」）は、化血研が製造販売するインフルエンザワクチンHAワクチン“化血研”について、2015年5月に販売提携契約を締結しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における資本合計は1兆2,811億円(前期末比259億円減少)、資産合計は1兆9,269億円(前期末比554億円減少)、親会社所有者帰属持分比率は66.3%(前期末65.8%)となりました。

資本合計は、四半期利益の計上がある一方で、自己株式の取得等により、減少しました。

資産合計は、営業債務及びその他の債務の減少等により、資本合計と比較して減少額が大きくなっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2015年5月14日に公表した2016年3月期連結業績予想との差異は次のとおりです。

① 2016年3月期通期連結業績予想数値の修正(2015年4月1日～2016年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 920,000	百万円 100,000	百万円 95,000	百万円 60,000	円 銭 85.22
今回発表予想 (B)	950,000	120,000	115,000	75,000	108.12
増減額 (B-A)	30,000	20,000	20,000	15,000	
増減率 (%)	3.3	20.0	21.1	25.0	
(ご参考) 2015年3月期	919,372	74,422	79,936	322,119 (継続事業分) 46,473	457.56 (継続事業分) 66.01

*第2四半期以降の想定為替レート 1米ドル=120円 1ユーロ=130円

② 修正の理由

売上収益につきましては、米国第一三共Inc.におけるウェルコールの特許満了に伴うジェネリック品の参入が想定より遅延する見込みであること、またルイトポルド社におけるインジェクタファー等の売上のさらなる拡大が見込まれることなどから、前回予想を300億円上回る9,500億円に修正いたします。

営業利益及び税引前利益につきましては、売上収益の拡大による売上総利益の増加が見込まれることを踏まえ、前回予想をそれぞれ200億円上回る営業利益1,200億円、税引前利益1,150億円に修正いたします。

親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては、税引前利益の増加に伴い、前回予想を150億円上回る750億円に修正いたします。なお、2015年3月期における継続事業の親会社の所有者に帰属する当期利益465億円に対しては、大幅な増益となります。

(注) 上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

(IFRSにより要求される会計方針の変更)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除いて、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当社グループは、当連結会計年度より、次の基準書を適用しております。この基準書の適用が、要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

IFRS		概要
IAS第19号	従業員給付	勤続年数に依存しない従業員又は第三者からの 拠出に係る会計処理の簡略化

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2015年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	189,372	238,412
営業債権及びその他の債権	241,547	246,381
その他の金融資産	186,457	468,689
棚卸資産	150,093	154,943
その他の流動資産	14,697	21,378
小計	782,168	1,129,805
売却目的で保有する資産	3,165	—
流動資産合計	785,334	1,129,805
非流動資産		
有形固定資産	266,491	266,212
のれん	71,366	72,472
無形資産	199,411	214,925
持分法で会計処理されている投資	1,347	1,114
その他の金融資産	593,944	175,851
繰延税金資産	45,330	47,441
その他の非流動資産	19,059	19,063
非流動資産合計	1,196,951	797,082
資産合計	1,982,286	1,926,888

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2015年6月30日)
負債及び資本		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	235,546	219,116
社債及び借入金	20,000	20,000
その他の金融負債	7,576	1,034
未払法人所得税	7,767	7,691
引当金	19,444	19,939
その他の流動負債	6,735	7,786
小計	297,070	275,567
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	426	—
流動負債合計	297,496	275,567
非流動負債		
社債及び借入金	201,000	201,000
その他の金融負債	8,337	8,232
退職給付に係る負債	11,631	11,973
引当金	2,713	2,722
繰延税金負債	88,357	77,911
その他の非流動負債	65,707	68,368
非流動負債合計	377,747	370,208
負債合計	675,244	645,776
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	105,267	104,114
自己株式	△14,198	△38,279
その他の資本の構成要素	169,034	189,667
利益剰余金	993,953	972,343
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,304,057	1,277,845
非支配持分		
非支配持分	2,984	3,266
資本合計	1,307,041	1,281,112
負債及び資本合計	1,982,286	1,926,888

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
売上収益	213,706	238,417
売上原価	64,586	73,961
売上総利益	149,119	164,456
販売費及び一般管理費	74,918	71,636
研究開発費	41,410	43,693
営業利益	32,790	49,126
金融収益	2,180	1,638
金融費用	1,932	5,378
持分法による投資損失	342	191
税引前四半期利益	32,695	45,194
法人所得税費用	11,802	11,104
継続事業からの四半期利益	20,892	34,090
非継続事業からの四半期損失(△)	△2,345	—
四半期利益	18,546	34,090
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	19,986	34,932
非支配持分	△1,440	△842
四半期利益	18,546	34,090
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	28.39	49.76
継続事業	30.64	49.76
非継続事業	△2.25	—
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	28.34	49.66
継続事業	30.58	49.66
非継続事業	△2.25	—

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
四半期利益	18,546	34,090
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	3,281	△26,811
確定給付制度に係る再測定額	△8	—
その後純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△6,522	12,054
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	△11	—
税引後その他の包括利益	△3,261	△14,756
四半期包括利益	15,285	19,333
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	16,952	20,185
非支配持分	△1,667	△851
四半期包括利益	15,285	19,333

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ	その他の 包括利益を通 じて公正価値 で測定する 金融資産
2014年4月1日 残高	50,000	105,267	△14,408	1,680	80,252	—	39,821
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△6,305	—	3,280
四半期包括利益	—	—	—	—	△6,305	—	3,280
自己株式の取得	—	—	△4	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	9	△4	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	78
その他の増減	—	—	—	—	△0	—	△0
所有者との取引額等合計	—	—	4	△4	△0	—	78
2014年6月30日 残高	50,000	105,267	△14,403	1,676	73,946	—	43,179
2015年4月1日 残高	50,000	105,267	△14,198	1,760	106,202	△4,347	65,419
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	12,063	—	△26,811
四半期包括利益	—	—	—	—	12,063	—	△26,811
自己株式の取得	—	△14	△24,123	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	42	△14	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
非支配持分の取得	—	△1,138	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	4,347	31,047
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△1,153	△24,080	△14	—	4,347	31,047
2015年6月30日 残高	50,000	104,114	△38,279	1,745	118,266	—	69,655

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	確定給付制度 に係る再測定	その他の資本 の構成要素 合計	利益剰余金	親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2014年4月1日 残高	—	121,753	717,320	979,933	27,594	1,007,527
四半期利益	—	—	19,986	19,986	△1,440	18,546
その他の包括利益	△8	△3,033	—	△3,033	△227	△3,261
四半期包括利益	△8	△3,033	19,986	16,952	△1,667	15,285
自己株式の取得	—	—	—	△4	—	△4
自己株式の処分	—	△4	△4	0	—	0
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	84	84
配当金	—	—	△21,118	△21,118	—	△21,118
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	8	86	△86	—	—	—
その他の増減	—	△0	—	△0	△202	△202
所有者との取引額等合計	8	82	△21,210	△21,123	△118	△21,241
2014年6月30日 残高	—	118,802	716,096	975,763	25,808	1,001,572
2015年4月1日 残高	—	169,034	993,953	1,304,057	2,984	1,307,041
四半期利益	—	—	34,932	34,932	△842	34,090
その他の包括利益	—	△14,747	—	△14,747	△8	△14,756
四半期包括利益	—	△14,747	34,932	20,185	△851	19,333
自己株式の取得	—	—	—	△24,137	—	△24,137
自己株式の処分	—	△14	△27	0	—	0
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	△21,120	△21,120	—	△21,120
非支配持分の取得	—	—	—	△1,138	1,138	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	35,394	△35,394	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	△5	△5
所有者との取引額等合計	—	35,380	△56,543	△46,396	1,133	△45,263
2015年6月30日 残高	—	189,667	972,343	1,277,845	3,266	1,281,112

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
継続事業からの税引前四半期利益	32,695	45,194
減価償却費及び償却費	9,988	10,570
減損損失	114	—
金融収益	△2,180	△1,638
金融費用	1,932	5,378
持分法による投資損益(△は益)	342	191
固定資産除売却損益(△は益)	130	△3,766
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	6,954	△703
棚卸資産の増減額(△は増加)	△8,165	△5,187
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△16,306	△16,331
その他	△3,771	1,458
小計	21,733	35,167
利息及び配当金の受取額	1,357	1,356
利息の支払額	△779	△398
法人所得税の支払額	△4,650	△10,404
非継続事業からの営業活動キャッシュ・フロー	△402	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,258	25,721
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△13,443	△219,836
定期預金の払戻による収入	20,000	40,549
投資の取得による支出	△75,997	△141,700
投資の売却による収入	134,539	417,581
投資の売却に係る為替予約の決済による支出	—	△7,024
有形固定資産の取得による支出	△7,533	△7,419
有形固定資産の売却による収入	7	46
無形資産の取得による支出	△5,051	△19,567
子会社の売却による収入	—	7,004
貸付けによる支出	△487	△820
貸付金の回収による収入	366	572
その他	△114	4,025
非継続事業からの投資活動キャッシュ・フロー	△1,499	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	50,786	73,412
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行及び借入れによる収入	—	0
社債の償還及び借入金の返済による支出	△60,000	△0
自己株式の取得による支出	△4	△24,123
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△21,130	△21,156
その他	△249	△7,924
非継続事業からの財務活動キャッシュ・フロー	△2,429	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△83,813	△53,203
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△15,768	45,929
現金及び現金同等物の期首残高	183,070	189,372
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,618	3,111
現金及び現金同等物の期末残高	165,683	238,412

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、「医薬事業」の単一セグメントであるため、報告セグメント別の記載は省略しております。